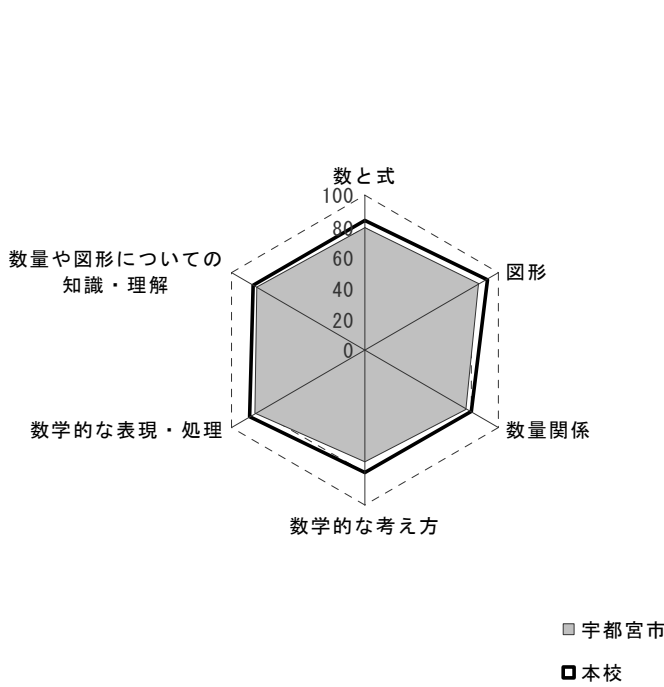


3 学年数学

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）

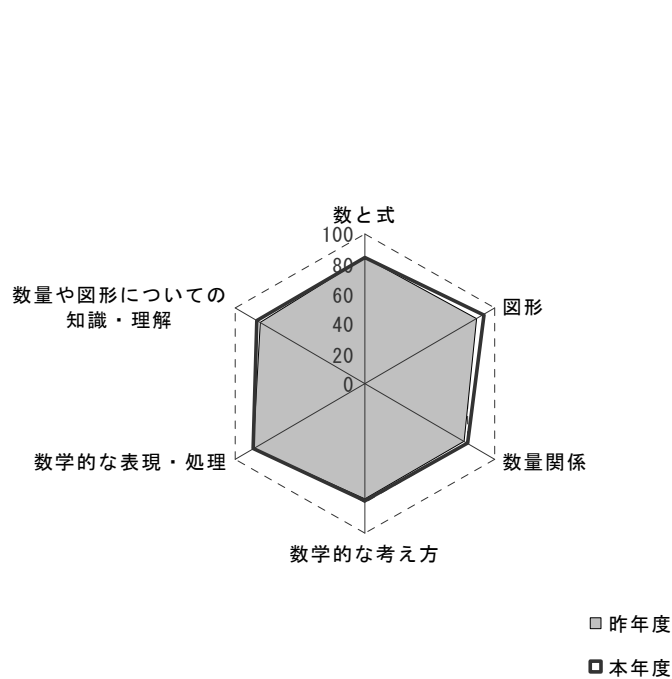


■平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	数と式	79.1	84.1
	図形	85.4	91.2
	数量関係	75.6	79.6
観点別	数学的な考え方	71.9	78.8
	数学的な表現・処理	82.0	86.5
	数量や図形についての知識・理解	79.7	83.7

受検人数	宇都宮市	本校
	3783 人	208 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（平成18年度と平成17年度の状況）



■平均正答率

		本年度	昨年度
領域別	数と式	84.1	84.0
	図形	91.2	86.5
	数量関係	79.6	77.5
観点別	数学的な考え方	78.8	77.2
	数学的な表現・処理	86.5	86.2
	数量や図形についての知識・理解	83.7	80.7

受検人数	本年度	昨年度
	208 人	227 人

※平均正答率の状況から、今後指導の重点を置くべき領域や観点を明らかにし、指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
数と式 (84.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」については正答率が高く、理解できている生徒が多いようである。 ・文章問題については、やや理解不足のようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算問題については丁寧に、繰り返し取り組むことで、今まで以上に基礎・基本の定着と個に応じた指導をしっかりと行いたい。
図形 (91.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形」に関しては正答率が9割を超え、かなり高いレベルで理解できている生徒が多いようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形」領域の中でも角度や長さ、比を求めることなどには、意欲的に取り組めるが、証明については苦手意識を持っているようである。 ・証明の流れを理解させ、1問1問じっくり丁寧に扱うことで、論理的に考える力をつけていきたい。
数量関係 (79.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・「数量関係」については他領域に比べやや低く、目標の80%をわずかに下回ってしまったが、市の平均・昨年度をともに上回っており、習熟度別学習の成果があらわれているようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関数については実生活と結びつけながら指導していきたい。 ・基礎・基本の定着と個に応じた指導を心がけ、考える問題にじっくり取り組ませるとともに、教材・教具をよりよく工夫していきたい。